# 添付資料一覧

第２部

資料２－１－１　最終課題発表会一覧

資料２－３－１　人材育成モデル事業の募集要項等

資料２－３－２　受講グループ一覧

第３部

資料３－２－１　各課題の詳細等

資料３－２－２　課題図書の一覧と受講生の選定状況

資料３－３－１　集合研修の式次第等

資料３－３－２　集合研修の参加グループ一覧

第４部

資料４－２－１　集合研修アンケート項目

資料４－２－２　スクール受講後アンケート項目

## 資料２－１－１　最終課題発表会一覧

新たな都市空間創造スクール最終課題発表（令和元年度 都市経営と官民連携型まちづくりセミナー内）一覧

| 開催地 | 開催日<br>（時間は予定） | 開催場所(住所・会場） | スクール最終課題発表<br>講評者 |
|---|---|---|---|
| 北海道ブロック | 令和2年2月18日（火）<br>13:30～16:45 | 札幌国際ビル8階　国際ホール<br>（北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地） | 大東公民連携まちづくり事業株式会社<br>代表取締役<br>入江　智子　様 |
| 東北ブロック | 令和2年2月12日（水）<br>13:30～17:00 | TKPガーデンシティ仙台（ホール13A）（予定）<br>宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 13F | （有）ハートビートプラン代表取締役<br>NPO法人もうひとつの旅クラブ理事<br>（一社）水都大阪パートナーズ理事<br>泉　英明　様 |
| 関東ブロック<br>※まちづくりセミナーの施策説明およびまちづくり事例講演等は別日(2／26)開催 | 令和2年2月14日(金)<br>13:00～16:30 | 関東地方整備局　大会議室5A(5F)<br>（埼玉県さいたま市中央区新都心2-1　さいたま新都心合同庁舎2号館） | 東京大学先端科学技術センター助教<br>一般社団法人ソトノバ共同代表理事・編集長<br>泉山　塁威　様<br>国土交通省都市局まちづくり推進課<br>官民連携推進室　企画専門官<br>塚田　友美 |
| 北陸ブロック | 令和2年2月3日(月)<br>13:00～17:00(予定) | 富山県庁　4F　大ホール<br>(富山県富山市新総曲輪1-7) | 柏の葉アーバンデザインセンター<br>(UDCK)副センター長<br>三牧　浩也　様 |
| 中部ブロック | 令和2年2月26日(水)<br>13:30～17:00 | ABO　HALL（301号室）<br>愛知県名古屋市中村区名駅3－15－39 | 札幌駅前通まちづくり会社<br>代表取締役 社長<br>白鳥　健志　様 |
| 近畿ブロック | 令和2年1月28日(火)<br>13:00-16:20 | 大阪合同庁舎第1号館 (第1別館2F大会議室)<br>(大阪府大阪市中央区大手前1-5-44) | 株式会社ワークヴィジョンズ<br>西村　浩　様 |
| 四国ブロック | 令和2年2月14日(金)<br>11:00～17:15 | 内子自治センター<br>愛媛県越智郡内子町内子3427番地 | 法政大学教授<br>保井　美樹　様 |
| 九州ブロック | 令和2年2月12日（水）<br>10:20～17:00 | 九州地方整備局共用会議室　共用会議室4～6<br>（福岡県福岡市博多区博多駅東2-10－7） | 株式会社ブルースタジオ専務取締役<br>大島　芳彦　様 |

最終課題発表（近畿ブロック）の様子

資料２－３－１　人材育成モデル事業の募集要項

# 令和元年度「新たな都市空間創造スクール」募集要項

**１．目　的**

人口減少社会や逼迫する地方行財政等の状況下において、まちなかの賑わい創出や多様な人材の集積など、都市の魅力の向上を図るために官民が連携してまちづくりを進めていくことが重要であり、民間まちづくり活動の担い手を発掘・育成するためには、「民」の活動を下支えする「官」側の意識醸成が不可欠です。

本スクールでは、市町村をはじめとする地方公共団体及び国の行政機関の幹部職員等を対象に、公共空間活用や官民連携の考え方や手法に関する基礎的な知識から実践事例を学ぶことにより、民間を活かしたまちづくりについて主体的に考え、民間主導・行政支援のまちづくりを行うことのできる公務員を養成します。

**２．受講の流れ**

①　本スクールでは**「公共空間を活かしたまちづくり」**など官民連携による取組を進める民間有識者及び地方自治体職員等の講師によるｅラーニング形式の講義（計４クール）及び集合研修等を行います（別紙参照）。

②　各クールの講義聴講後には課題レポートを提出していただきます（**なお、課題レポートの一部については、受講者内で共有する予定**）。

③　全クール終了後に最終課題レポートを作成していただき、各地方整備局等における最終課題レポート発表会において、発表していただきます。

**３．スケジュール（予定）**

| | |
|---|---|
| **８月２０日（火）正午** | **申込締め切り** |
| **８月２３日（金）** | **事前課題（課題図書）提示** |
| ９月　５日（木） | 課題図書レポートの提出締め切り |
| **９月１７日（火）** | **第１クール配信、第１課題提示** |
| １０月　３日（木） | 第１課題レポート提出締め切り |
| **１０月　７日（月）** | **第２クール配信、第２課題の提示** |
| １０月２４日（木） | 第２課題レポート提出締め切り |
| **１０月２８日（月）** | **第３クール配信、第３課題の提示** |
| **１１月　７日（木）** | **集合研修（会場：東京都千代田区「アーツ千代田 3331」）** |
| １１月２１日（木） | 第３課題レポート提出締め切り |
| **１１月２５日（月）** | **第４クール配信、第４課題（課題図書）及び最終課題の提示** |

１２月１９日（木）　　　　第４課題レポート提出締め切り
１月１７日（金）　　　　最終課題レポート提出締め切り
**１月２７日（月）以降　　最終課題レポート発表・講評（会場：各地方整備局等）**

## ４．課題について

○　本スクールが、各自治体のまちの課題解決に向けて意義あるものになるよう、クール毎に**課題レポートの作成**を重ね、**最終課題レポートに繋がる仕組み**としています。

○　各グループは、各課題レポートを作成する過程において、**官民連携まちづくりの舞台となるエリア（まちなか）と課題を設定**していただきます。

○　設定したエリアの課題解決に向けて、**担い手となる可能性のある民間プレーヤーの掘り起こし**を行います。

○　**最終課題レポート**においては、**民間と行政組織（官民連携まちづくりに必要と考えられる行政組織のあり方を含む）が連携した『民間による公共空間活用案』を提案**していただきます。

## ５．参加要件

以下の全てを満たすグループであること。

（１）**部局長等のクラスの職員を含む３～６名のグループ**
（２）グループを構成する受講者が、**同一の市区町村、都道府県、国の行政機関の職員**
（３）グループの受講者が、**以下のすべての要件を満たす**。

・新しい知識を吸収し、**前向きにまちの課題を解決しようとする意欲がある**こと。

・各受講者が、**本スクール全カリキュラム（事前課題及び第１～４課題の作成を含む）への参加が可能**であること（なお、集合研修の参加は任意、最終課題レポートの発表会には、各グループ１名以上の参加が必要）。

※　講義の受講にはパソコンもしくはタブレット・スマートフォン端末及びインターネットに接続できる環境が必要です。

## ６．定　員

５０グループ程度

※　定員を超える場合、参加申込書により選考を行います。

７．参加費

スクール参加費用は無料ですが、集合研修及び最終課題レポート発表会の参加に係る交通費・宿泊費等は各自負担となります。

８．申込方法

「官民連携まちづくりポータルサイト」内の「お知らせ」より、参加申込書（Excel 形式）をダウンロードして頂き、グループの連絡窓口となる方がまとめて、以下の宛先までお申し込みください（締め切り：８月２０日（火）正午）。

なお、事務局からの返信メールを持って申込完了となります。

○　官民連携まちづくりポータルサイト（「お知らせ」に掲載）

http://www.mlit.go.jp/toshi/info/index.html

資料２－３－２　受講グループ一覧

| No. | グループ名 | 所属 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | チーム北九州 | 北九州市 | 4 |
| 2 | 東京都台東区役所 | 台東区 | 5 |
| 3 | 前橋市 | 前橋市 | 6 |
| 4 | 板橋区 | 板橋区 | 7 |
| 5 | 大田区 | 大田区 | 6 |
| 6 | 兵庫県まちづくり部 | 兵庫県 | 6 |
| 7 | 国土交通省四国地方整備局 | 国土交通省四国地方整備局 | 5 |
| 8 | なみすけ＆ナミー | 杉並区 | 6 |
| 9 | 沼津市役所 | 沼津市 | 6 |
| 10 | 渋谷区 | 渋谷区 | 4 |
| 11 | 鹿児島県曽於市 | 曽於市 | 6 |
| 12 | 大津市都市再生課 | 大津市 | 6 |
| 13 | 徳島市まちづくりトークプラザ | 徳島市 | 6 |
| 14 | さいたま市未来都市推進部 | さいたま市 | 4 |
| 15 | 金沢かがやき創造グループ | 金沢市 | 6 |
| 16 | OKAZAKIーA | 岡崎市 | 5 |
| 17 | OKAZAKIーB | 岡崎市 | 5 |
| 18 | OKAZAKIーC | 岡崎市 | 5 |
| 19 | 長野県建築住宅課 | 長野県 | 3 |
| 20 | 宮崎県串間市 | 串間市 | 6 |
| 21 | 野田市 | 野田市 | 5 |
| 22 | 内子のミライ | 内子町 | 4 |
| 23 | 四條畷市 | 四條畷市 | 3 |
| 24 | 長崎県 | 長崎県 | 6 |
| 25 | 新潟県 | 新潟県 | 6 |
| 26 | 函館市まちぐらしデザインチーム | 函館市 | 5 |
| 27 | 三浦市政策部 | 三浦市 | 4 |
| 28 | 名古屋市界隈性のある都市空間の形成研究会 | 名古屋市 | 7 |
| 29 | さがみはら　まち育て応援団 | 相模原市 | 4 |
| 30 | 武蔵野市役所 | 武蔵野市 | 6 |
| 31 | 弘前市役所 | 弘前市 | 6 |
| 32 | 餃子の街・宇都宮市 | 宇都宮市 | 7 |
| 33 | 姫路市 | 姫路市 | 6 |
| 34 | 八千代市 | 八千代市 | 4 |
| 35 | 都心・三宮チーム | 神戸市 | 6 |
| 36 | 水戸市 | 水戸市 | 7 |
| 37 | 高石市 | 高石市 | 5 |
| 38 | 岐阜羽島 | 羽島市 | 3 |
| 39 | 川崎市役所 | 川崎市 | 5 |
| 40 | 須賀川市 | 須賀川市 | 4 |
| 41 | 江戸川区土木部水とみどりの課 | 江戸川区 | 5 |
| 42 | 宮崎県都市計画課 | 宮崎県 | 4 |
| 43 | 和歌山市 | 和歌山市 | 6 |
| | | 計 | 225 |

資料３－２－１　各課題の詳細

令和元年８月23日

# 新たな都市空間創造スクール
# 事前課題

課題：
課題図書リストの中から１冊を選定し、熟読の上、あなたが考える地域の特性（地域産業や地域資源、地域の課題等）を踏まえた官民連携まちづくりのあるべき姿について論述しなさい。

課題形式：個人ワーク
字　　数：２，０００字　程度（図表含む）
提出期限：９月５日（木）
ファイル：MSワードにて作成

令和元年9月17日

# 新たな都市空間創造スクール
# 第１課題

課題①：受講者の視点で見た「まち」の課題と行政の関わり方

以下について論述しなさい。
１） あなたが考えるまちや地域に関する行政課題とは何か。
２） あなたは現在その行政課題とどのように関わっているのか。
３） 講義動画の視聴や課題図書の読書を踏まえ、あなたは今後どのように関わっていく必要があると考えるのか。

課題②：受講グループの構成意図

「都市空間創造スクール」の受講グループに関し、なぜこのようなメンバー構成にしたのか、最終課題レポートが「民間と行政組織（官民連携まちづくりに必要と考えられる行政組織のあり方を含む）が連携した『民間による公共空間活用案』の提案」である点も踏まえ、記載しなさい。

課題形式：個人ワーク（課題①） 及び グループワーク（課題②）
課題ごとにファイルを分け、作成してください。
字　　数：課題①：１）～３）合わせて　２，０００字　程度
課題②：特になし（構成図等を用いた説明も可）

提出期限：１０月３日（木）
ファイル：MSワードにて作成

令和元年10月7日

# 新たな都市空間創造スクール
# 第２課題

## テーマ：受講グループの視点で見た「まち」の課題

課題①：　最終課題の対象となるエリアの設定及び課題について

　最終課題「民間による公共空間活用の提案」に向けて、第１課題で各受講者が検討した「まちの課題等」を勘案しつつ、グループで提案の対象となるエリア（直径５００ｍ程度～１ｋｍ程度の範囲）を設定し、そのエリアを選定した理由と具体的な課題、課題解決に向けたまちづくりの方向性を記載しなさい。

課題②：民間プレーヤーによる取組が可能と思われる公共空間の設定及び活用の可能性について

　課題①で設定したエリア内で、課題解決に向けた民間プレーヤーによる取組が可能と思われる公共空間（道路、公園、河川その他）を設定し、その空間にどのような活用の可能性が秘められているか、記載しなさい。

課題形式：<u>グループワーク</u>
枚　　数：課題①と②を合わせて１０枚程度
　（MSパワーポイントにて作成）
提出形式：ＰＤＦデータに変換したファイルを提出
提出期限：１０月２４日（木）

令和元年10月28日

# 新たな都市空間創造スクール
# 第３課題

## テーマ：民間プレーヤーの発掘とその活動の促進

課題①：　民間プレーヤーの発掘

　最終課題「民間による公共空間活用の提案」に向けて、第２課題で各受講グループが設定した公共空間（道路、公園、河川その他）において、主体的にまちづくり活動を担う又は担う可能性があると考える民間プレーヤーを取り上げ、その民間プレーヤーの概要（名前、活動範囲、活動内容や実績等）及び取り上げた理由を記載しなさい。
なお、取り上げるプイーヤーは１名以上とする。

課題②：民間プレーヤーの活動促進のための方策

　課題①で取り上げた民間プレーヤーによるまちづくり活動を促進するため、行政としてどのような対応を図るか、具体的な方策を検討し、その検討案を記載しなさい。
　その際、民間プレーヤーに対して、第２課題で設定したエリアの課題に対する見解、活動プラン等をヒアリングし、その内容も取りまとめること。

課題形式：グループワーク
枚 数：課題①：１プレーヤーにつき、１～２枚程度
　　　　課題②：２～５枚程度　（MSパワーポイントにて作成）

提出形式：ＰＤＦデータに変換したファイルを提出
提出期限：１１月２１日（木）

令和元年11月25日

# 新たな都市空間創造スクール
# 第４課題

## テーマ：受講者自身 及び 組織の将来像

　最終課題「民間による公共空間活用の提案」に向けて、課題図書の読書とこれまでの各講義の視聴を通じて得た知見・気づき等をもとに、受講者自身及び組織の将来像について記述しなさい

課題形式：個人ワーク
字　　数：２，０００字 程度（図表含む）
提出期限：１２月１９日（木）
ファイル：MSワードにて作成
提 出 先：新たな都市空間創造スクール事務局（下記）に提出

令和元年11月25日

# 新たな都市空間創造スクール
# 最終課題

## テーマ：官民連携による公共空間活用プランの提案

　これまでの講義及び課題レポートを踏まえた、官民連携による公共空間活用プランを提案しなさい。なお、公共空間活用プランにおいて示す基本項目は以下のとおりとする。

・エリアの課題とまちづくりの方針
・対象とする公共空間（道路、公園、河川その他）
・民間プレーヤーによる公共空間活用イメージ
・公共空間活用に向けた官民による取組のステップ
・民間を支援する行政としての取組の第一歩

課題形式：グループワーク
枚　　数：１０枚程度（ＭＳパワーポイントにて作成）
提出形式：ＰＤＦデータに変換したファイルを提出
提出期限：令和２年１月１７日（金）

令和元年12月20日

# 新たな都市空間創造スクール
# 最終課題レポートの発表について

**1.最終課題レポートの発表の開催日程と会場について**

「都市経営と官民連携型まちづくりセミナー」において、
発表を実施します。
日程と会場、講評講師は、別添のとおりです。

**2.発表者及び随行者の登録方法及び発表用資料の提出について**

セミナーの参加者募集が始まりましたら、募集案内を「新たな都市空間創造スクール事務局」から送付しますので、案内にある発表者の登録様式をセミナー主催者（※１）へ送付お願いします。

セミナー主催者から発表用資料の提出等について連絡がありますので、ご対応よろしくお願いします。（※２）

※１　セミナー主催者は、北海道ブロックは北海道庁・（一財）北海道建設技術センター、その他のブロックは国土交通省の各地方整備局です。

※２　発表用資料とは別に、11月２５日に送付した最終課題に記載しているとおり、令和２年１月１７日（金）までに、「新たな都市空間創造スクール事務局」に最終課題の発表レポートの提出をお願いします。事務局に提出して頂いたバージョンを本スクールのウェブサイトに掲載する予定です。

**3.最終課題レポートの作成・発表について**

①最終課題で示した基本項目を含めた内容とすること。

・エリアの課題とまちづくりの方針
・対象とする公共空間（道路、公園、河川その他）
・民間プレーヤーによる公共空間活用イメージ

・公共空間活用に向けた官民による取組のステップ
・民間を支援する行政としての取組の第一歩
　②　発表時間が５分間であることに留意して作成すること（発表時間は厳守お願いします）

　③　発表にあたっては、エリアの課題とまちづくり方針を踏まえて、どのような活用をイメージするのか、そのためには行政としてどのように取り組みたい（又は取り組むことを検討している）のかを発表してください。

**4.セミナー参加者について**

　本セミナーは、行政及び都市再生推進法人、まちづくり会社、全国エリアマネジメントネットワーク、まちづくり団体、地域金融機関等を対象としています。セミナー参加者も最終課題レポートの発表を聴講することが可能です。

**5.関東地方整備局主催のセミナーに関する補足について**

　関東地方整備局管内のみ受講グループが多数のため、セミナーを以下の通り、２日間に分けて実施します。

２月１４日（金）
泉山講師のご講演及び最終課題レポートの発表・講評

２月２６日（火）
まちづくり事例の講演及び国土交通省等の施策説明

## 資料３－２－２　課題図書の一覧と受講生の選定状況

課題図書リスト

| 番号 | 推薦図書 | 著者 | 出版社 | 第1課題選定者数 | 第4課題選定者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アーバンデザインセンター　開かれたまちづくりの場 | 前田英寿、遠藤新、他 | 理工図書 | 3 | 3 |
| 2 | 稼ぐまちが地方を変える 誰も言わなかった10の鉄則 | 木下斉 | NHK出版新書 | 42 | 24 |
| 3 | 公共R不動産のプロジェクトスタディ　公民連携のしくみとデザイン | 公共R不動産編 | 学芸出版社 | 32 | 34 |
| 4 | 最新エリアマネジメント：まちを運営する民間組織と組織財源 | 小林重敬、青山公三、保井美樹他著 | 学芸出版社 | 5 | 4 |
| 5 | ストリートデザイン・マネジメント | 出口 敦、三浦 詩乃、中野 卓 他 | 学芸出版社 | 13 | 10 |
| 6 | 地方創生大全 | 木下斉 | 東洋経済新報社 | 29 | 22 |
| 7 | 都市を変える水辺アクション実践ガイド | 泉 英明、嘉名 光市、武田 重昭 | 学芸出版社 | 8 | 4 |
| 8 | PUBLIC PRODUCE 「公共的空間」をつくる7つの事例 | 西田司、他 編著 | ユウブックス | 9 | 11 |
| 9 | まちづくり構造改革−地域経済構造をデザインする | 中村良平 | 日本加除出版 | 0 | 4 |
| 10 | まちづくり構造改革II—あらたな展開と実践 | 中村良平 | 日本加除出版 | 1 | 0 |
| 11 | 街直し屋ーまちとひとを再生させる仕事 | パブリック・イニシアティブ編 | 昭文社 | 6 | 9 |
| 12 | まちの価値を高めるエリアマネジメント | 小林重敬+森記念財団 | 学芸出版社 | 13 | 16 |
| 13 | 民間主導・行政支援の公民連携の教科書 | 清水 義次、岡崎 正信、泉 英明、馬場 正尊 | 日経BP | 17 | 32 |
| 14 | リノベーションまちづくり　不動産事業でまちを再生する方法 | 清水義次 | 学芸出版社 | 28 | 18 |
| 15 | RePUBLIC　公共空間のリノベーション | 馬場 正尊、Open A | 学芸出版社 | 21 | 25 |

※　第1課題については複数選択者（1度に3冊を選択）1名を含む。

※　第4課題については受講辞退者、提出不可、図書未選択者の計9名を除く。

その他参考資料

◯建築雑誌・第133集・1711号　2018-5 「特集」パブリックスペースからまちを動かす

◯日経BP　公共R不動産　公園マスターに聞く（前編・中編・後編）【インターネットの記事】

◯「季刊 中国創研　2019 Vol.23-1　NO.86」（公財）中国地域創造研究センター口
　“エリアマネジメントのこれまでとこれから”　官民協働と地域の力～札幌駅前通まちづくり

◯「都市機能更新におけるエリアマネジメントとの連携」保井美樹（都市計画341号、2019.10予定）